

「中国地方学生BBS会員のみなさんへのアンケート」2015年度結果報告

このアンケート行った目的は、学生BBS会員が社会人になるタイミングでほとんどの人がやめることについて、なぜか？またどうすれば1人でも多く継続できるかを検討し、対策を講じることです。

中国地方の全学生BBS会員を対象に2016年1～3月、当連盟事務局から地区BBS会等代表者へアンケート用紙を送付し、回答いただいたものです。アンケート用紙は【別紙】をご覧ください。

ご協力いただいた地区BBS会等はこちらの通りです。

- 【鳥取県】鳥取大学BBS会
- 【島根県】松江地区BBS会（島根大学）、島根県立大学BBSサークル
- 【岡山県】美作大学BBS会、川崎医療福祉大学BBSサークル
- 【広島県】東広島地区BBS会（広島大学）、広島地区BBS会
- 【山口県】山口BBS会（山口大学、山口県立大学）、宇部フロンティア大学BBS会、下関BBS会（東亜大学）、周南BBS会（徳山大学）

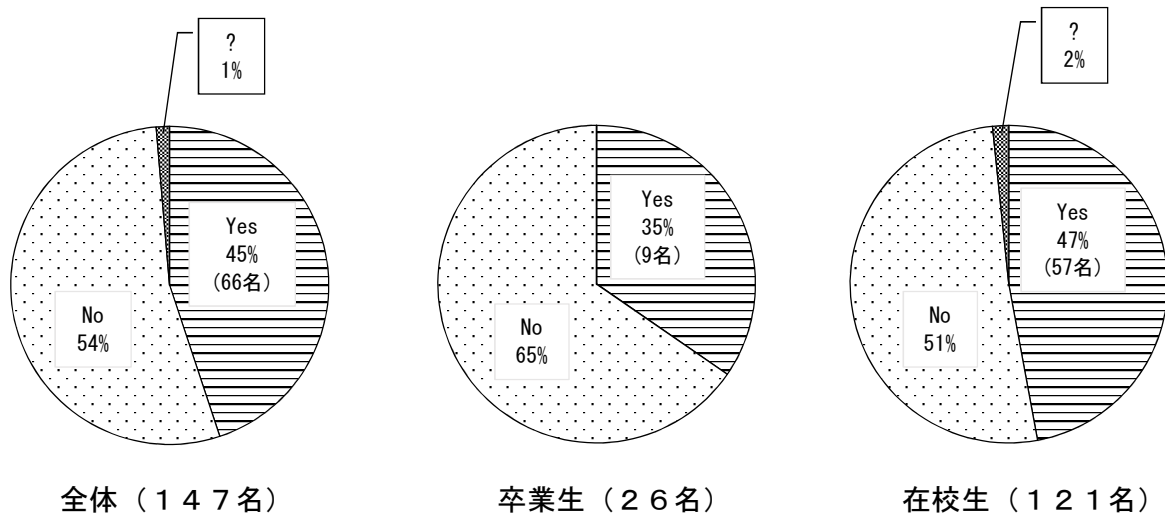
【結果】

▼アンケート回答率：**60%**

中国地方全学生会員246名中、147名回答（学生BBS会員数は、2016年1月当連盟事務局調べ）

参考：中国地方の学生会員の割合は、45%（中国地方全会員317名中、141名）
 （2015年4月1日法務省保護局調べ）

▼社会人になって、BBSを続けたいですか？（グラフ1）



▼大学等を卒業した会員から当連盟事務局への転籍依頼と実績（表1）

[単位：人]

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
依頼数	—	11	7	6	7
転籍数	—	2	2	1	3

※ 2011年度は調査していません。2015年度は2016年4月末現在で、その他2名調整中です。
 （7名中、中国地方内5名、地方外2名の転居）

▼ 中国地方の「学生～社会人会員」数（表2）

調査年月	2012年1月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年4月
人数	14	14	19	20	24

▼ 「学生～社会人会員」が務めている役員数等（2016年4月末現在）

○当連盟役員13名中、6名（46%）

○中国地方の「学生～社会人会員」24名（表2より）の内、中間支援組織（県BBS連盟，地方BBS連盟）役員を務めているのは、8名（3分の1）

【学生の生の声】

▼ 卒業後も会員を続けられない、または続けたくない理由（順不同）

【卒業生】

- ・仕事との両立が困難と思う
- ・社会人1年目、新生活に慣れたい
- ・転勤が多いため
- ・自分の住む地域にBBSがない
- ・大学時代の活動内容が濃く、社会人になって同様に活動するには困難
- ・地元のBBS内の仲が悪いと聞いたから

【在校生】

- ・仕事との両立が困難と思う
- ・仕事に専念したい
- ・社会人の活動内容がわからない
- ・BBSにこだわらず、他のボランティアをしたい
- ・大学時代で十分
- ・もっとBBSを知ってから考えたい
- ・社会人になったら、仕事以外のことを考えられないと思う
- ・忙しくないようであれば参加したい
- ・どこで働くかわからないが、中国地方なら参加したい
- ・仕事との両立が不安。できるならやりたい
- ・転居先のBBS活動がわかってから考える
- ・中国地方BBS大会に参加して、気を遣う集団だと感じたから

▼ 卒業後も会員を続けたい理由（順不同）

【卒業生】

- ・BBSを続けたいが、方法がわからない
- ・これから他地区BBS会の人たちとつながりを作り、他地区においても活動しやすい環境を作りたい
- ・これまでのつながりを大切にしたい
- ・非行や不登校を無くしたい。子どもたちと根気強く向き合う

【在校生】

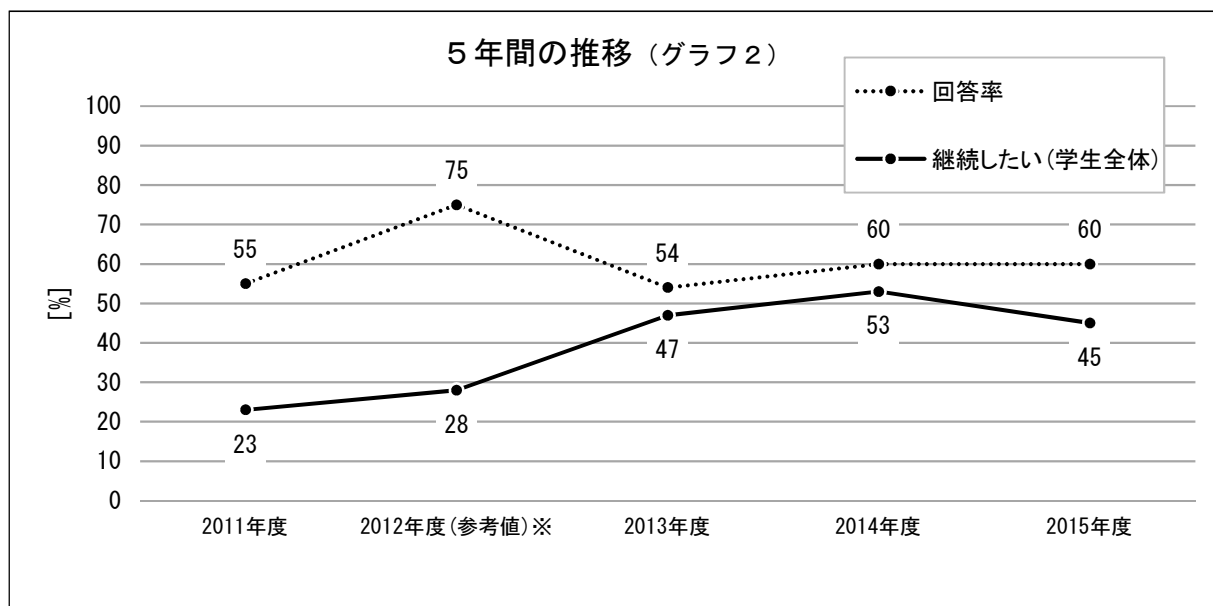
- ・子どもを含め、いろんな人と関わりたい
- ・入会方法をおしえてほしい
- ・もっと多くの人に、BBSを知ってほしい

- ・子どもだけでなく、社会人との関わりが広がったため
- ・年齢に関係なく社会貢献はできると思うので、続けたい
- ・将来、地元のBBSで可能な範囲でやってみたい
- ・大学時代で終わるのではなく、続けることに意味があると思うから

▼ 悩んでいる理由（順不同）

- ・学生と社会人のBBS活動は同じなのか？
- ・職種（学校教諭，児童相談所職員等）によっては活動が難しいと思う

▼ 学生会員の継続意思の5年間推移



※ 2012年度は、卒業予定の学生会員を対象にアンケートを実施したため、参考値となります。

【考察】

- 言うまでもなく、ボランティアは個人の自発的意志から動いています。だから個々の思いを尊重し、傾聴することが大切です。特に大きい組織（連盟）が地区BBS会やBBSサークルの思いを聴く、また推し量ることが大切だと、チュウBメルマガやこのアンケートを継続してきて痛感しています。
- グラフ2より、2014年度53%だったのが2015年度45%と、値が下がっています。これについて過去のアンケートと比べて、回を重ねるごとに素直な意見が出ているように感じます。残念という印象を持ちますが、45%（卒業生は35%・グラフ1より）の継続したいと思う人たちが、BBSを継続するための具体的な行動につながるよう、当連盟事務局として、様々な取り組みを展開したいと思います。
- 転籍依頼数と転籍数の開きについて（表1）。依頼者に連絡をすると、社会人になってみて迷っている。または転居先にBBS会がない、学域BBS会（学生のみで構成されている組織）しかない。これらの理由から転籍が困難となっています。
- アンケート実施期間を年度末の1～3月に実施してきましたが、この時期学生は試験や春休みでアンケートの回収が困難なので、今年度からは12月末までに回収できるよう、10月から実施したいと思います。
- このアンケートは中国地方という範囲ですが、「学生の生の声」については全国的に言えるものではないかと察します。参考にしていただけたら幸いです。

- 毎年、学生会員にアンケートをすることにより、学生たちはきっと「社会人になったらBBSどうしようか？」と考えるのではないのでしょうか？年1回そんな機会があつていいと思いますし、社会人になってもBBS運動を続ける選択肢があることを知ってもらっただけでも、このアンケートについて意義あるものだと信じたいです。
- 総合的に考えると、**学生～社会人会員は、中間支援組織（県BBS連盟や地方BBS連盟）を運営する立場になる人や、学生時代の経験を通しての学生会員の相談相手になるなど、BBSにとって存在の意義は大きいもの**になっていると思います。

【提案】

1. 卒業した学生会員を一時的に都府県BBS連盟が受け入れる

当連盟事務局ではアンケート実施と同時に、学生会員転籍の仲介を行っていますが、転居先にBBS会がなく、転籍を断念することが多々あります。

山口県・さいきょうBBS会では、学生OB・OGの入会が相次いでいます（ここ1年間で5名）。この理由はいくつかあると思いますが、同じ境遇の会員が多いことや、OB・OGの受け皿として居心地がいい（県内の地域が限定されていない。活動等への参加について「できる時でいい」ということが明確。）ことなどが考えられます。このことから、（会員は地区BBS会に所属することが原則ですが）まず**都府県BBS連盟が学生を卒業した会員の受け皿組織**となる方がいいと思います。

2. 学生会員に、社会人会員の活動内容等、さらに伝える必要性がある

「**学生の生の声**」に、「社会人の活動内容がわからない」や「社会人になっての入会方法がわからない」というのがありました。これは社会人会員が学生会員へ積極的に伝える必要があると思います。

回収用

2015年度アンケート調査
中国地方BBS連盟事務局

学生BBS会員のみなさんへのアンケート

※書ける範囲でいいので、ご協力お願いします。

性別： _____， 大学・大学院： _____ 年， 地区会名： _____

1. 社会人になって、BBSを続けたいですか？

はい ・ いいえ

対策を考えたいので、差支えなかったら理由をおしえてください。

理由： _____

2. あなたはこの春から、社会人になる予定ですか？

はい ・ いいえ

3. 「チュウBメルマガ」を送っていい方は、名前とメアドをおしえてください。

お名前： _____

メールアドレス： _____

4. この春、卒業または修了等予定の方への質問です。

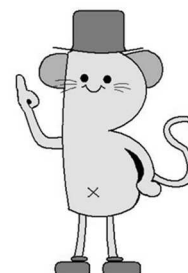
転居先のBBS会に連絡していいですか？（1. で「いいえ」の方は、連絡しません）

はい ・ いいえ

お名前： _____

4月から住む予定の市町村： _____

メールアドレス： _____



中国地方BBS連盟マスコットキャラクター
「チュウBくん」

※記入していただいた個人情報は、BBS以外で使用しません。